

【イベント名】

令和6年度いきいきキャリアスタート事業 宮城県一迫商業高等学校

【開催概要】

開催日

令和7年2月18日（火）

時間

13:15～14:05

場所

宮城県一迫
商業高等学校

参加人数

1年生 37名
2年生 28名

主催 宮城県 共催 宮城県一迫商業高等学校

プログラム

- 13:15～ **流れの説明**（5分）
宮城県一迫商業高等学校
- 13:20～ **第一部「男女共同参画 基礎講座」**（10分）
宮城県環境生活部 共同参画社会推進課
男女共同参画推進専門監 大沼 史柄
- 13:30～ **第二部「ゲストトーク」**（15分）
ナブコトート株式会社 佐藤 榛さん
HOYA株式会社宮城事業所 平間 美咲さん
- 13:45～ **第三部「ワークショップ」**（20分）
- 14:05 終了 ※終了後、WEBアンケート回答

第一部「男女共同参画基礎講座」

宮城県環境生活部 共同参画社会推進課
男女共同参画推進専門監 大沼 史柄

「これから社会人になる皆さんへ」と題し、1.ワーク・ライフ・バランス、2.日本の現状、3.多様な人材が活躍できる環境を作る、の3つを伝えました。併せて「自分らしく働き続けるためのワーク・ライフ・バランスとは（A4リーフレット）」を配布し、アンコンシャス・バイアスに触れつつ、身近な例を挙げながら説明を行いました。



第二部「ゲストトーク」

<卒業生ゲスト：2023年度卒業生 ナブコトート株式会社 佐藤 榛さん/HOYA株式会社宮城事業所 平間 美咲さん>

○進路を考え始めたのはいつから？

(佐藤さん)具体的に考え始めたのは高校2年の後半からだが、高校1年の後半までに決めておくと思う。

(平間さん)高校2年の修学旅行が終わった後から。具体的にはジョブフェアに参加したり、求人票を確認したりといった進路活動をして考え始めた。

○目標としていることは？

(佐藤さん)周りの先輩方に少しでも追いつけるよう、22歳までにはクレーンの資格を取りたいと考えている。そのために、先輩方が仕事をする際にどんなことに注意しているのかなど、観察して仕事を行っている。

(平間さん)環境に慣れて、一日でも早く会社の一員になることを目標としている。そのために、分からないことがあったら積極的に質問をし、丁寧かつ正確な作業をするように努力している。

○仕事や家庭で男女関係なく必要だと思うことは？

(佐藤さん)力を使う作業や、応用を利かせる必要がある作業等のスキルを、職場や家庭で身に付けることによって、家事の比率などは男女関係なく平等になると思う。

(平間さん)育児休暇を男性も取りやすくなることで、妻の負担を減らし、より良い家庭を築けると思う。

《先輩へのメッセージ》

(佐藤さん)進路を早めに考えて少しずつ準備をしておくことで、卒業後に何か困ったことがあっても、対応することができる。社会人になりたての時は苦しく、つらいこともあると思うが、そういう時こそ家族や友達を頼ることで乗り越えることができると思う。

(平間さん)これから楽しいことだけではなく辛いこともあると思うが、すぐに諦めるのではなく、何かいい改善策がないか考えて、後悔しない生き方をして欲しい。



第三部「ワークショップ」

1・2年生混合でグループを作り、ワークシートに記入、グループごとに意見交換を行いました。

第一部の男女共同参画基礎講座と、第二部のゲストトークを聞いての感想を各自で書き出し、その後それぞれが記入した内容をグループ内で話し合いました。

《生徒の感想※一部抜粋》

(第一部の感想) ・男性の育児取得率をあげる効果的な対策を講じた方が良かったと思った。

・固定概念を無くすことが必要だと思います。

・お互いの立場に立って考え、尊重し合うという機会が必要だと思いました。

(第二部の感想) ・就職を決めたきっかけや、働く上でどのようなことが大切かを知ることができました。

・早め早めの準備が大切だということが心に残った。

